

ソチ五輪 スノーボード女子パラレル大回転

銀メダルおめでとう 竹内 智香 選手



ソチオリンピックのスノーボード女子パラレル大回転で、竹内智香選手(30)が銀メダルを獲得した。スノーボード女子で、日本人選手がメダルを取るのも、初めての快挙となる。

好天に恵まれた山の会場。

パラレル大回転のメダルを目指す、竹内選手が、日本中の期待を背に、素晴らしい滑りを見せてくれた。

予選をトップで通過した竹内選手は、順調に勝ち上がり、準決勝の2回目。

見事に決勝進出を決め、銀メダル以上が確定した。

あとは、金メダルを目指し、決勝に挑むだけ。

その決勝の1回目でも、0秒30のリードを奪い、迎えた運命の2回目。

勝負に出たところで、まさかの転倒。

金メダルが目前で、その手から、するりと、すり抜けてしまった。

それでも、自身4度目のオリンピックで、堂々の銀メダル獲得は、今大会、日本女子第1号。

この種目、日本選手初のメダルを手にした。

竹内選手は「メダル取れたことは、すごくうれしいんですけども、やっぱり勝ちたかったっていうのが、今の一番の気持ちです。これからのスノーボードのアルペンスポーツを考えると、少しは貢献できたのかなというふうに思います。(今大会、日本選手団初の女性のメダルだが?)そうですね、メダルを取れたことは、すごくうれしいです。でもやっぱり、それ以上に、1人の人として評価してもらえるように、この先も、しっかり頑張っていきたいと思います」と話した。

中学生のころから、本格的にスノーボードを始め、自ら道を切り開いてきた30歳の竹内選手。

「悔しさの方が大きい」と言いながらも、最高の笑顔を見せた。



子供のころ、お父さんに連れられて東川町のキトウシ森林公園内にあるキャンモアスキー場で滑ったのがキッカケで、本格的にスノーボードを始めた。